

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	新型インフルエンザ等対策事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3131	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度	平成20年	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	—	事業分類	その他内部事務事業
	施策	3	感染症対策の推進						
	基本事業	1	感染症対策の徹底						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	新型インフルエンザ等の発生による健康被害とそれに伴う社会的影響を想定した行動計画に基づいて、対策を整備するとともに、業務継続を行う職員等への感染を防ぐために、防護服等を購入備蓄する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・業務継続を行う市職員等を感染から守る。 ・業務継続を行う職員等への感染を防ぐために、防護服等必要な物資の備蓄を行う。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
防護服備蓄数	セット	13,200	13,200	13,200	13,200	10,800
防護服着脱訓練の参加者数	人	50	50	50	50	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえて、2月に市職員を対象に防護服着脱訓練を実施した。 また、防護服セット1,650セット購入し、備蓄し、耐用年数を超過した防護服セットを1,650セット廃棄した。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
防護服購入数	セット	1,400	1,600	1,650
防護服着脱訓練開催回数	回	2	2	2
防護服着脱訓練参加者数	人	48	43	43
事業費計	千円	4,323	3,986	5,215
一般財源	千円	4,323	3,986	5,215
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・目標の防護服備蓄数を達成することができた。 ・防護服着脱訓練の参加者が目標を下回ってしまった。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
防護服備蓄数	セット	12,362	14,150	14,150	値が大きいほど良い	効果は変わらない
防護服着脱訓練の参加者数	人	48	43	43	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用が増加した	
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	
	効果は変わらない指標数	2指標	
	効果が下がった指標数	0指標	
	指標全体	効果は変わらない	

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

防護服着脱訓練の参加者数が、減ってきている。 令和7年度は、新型インフルエンザ等対策行動計画等の改定がある。
---

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

取組説明
<div><input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）</div> <div>・令和7年度に、新型インフルエンザ等対策行動計画等を改定する。 ・計画的に防護服を購入する。 ・令和7年度から、「新型コロナウイルス感染症等対策事業」と統合し、感染症対策の周知を行っていく。</div>

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	新型コロナウイルス感染症等対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	A-②	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		新型コロナウイルス感染症等対策事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3131	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	令和2年	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	令和6年	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	3	感染症対策の推進						
	基本事業	1	感染症対策の徹底						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、感染予防の対策を行う。 感染予防の啓発や情報発信を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民に対して、感染症拡大防止の徹底を図るとともに集団感染の発生を防ぎ、感染防止対策の徹底を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	・7月に新型コロナウイルス感染症予防に関するポスターを作成し、市有施設に掲示した。また、市のホームページ、X、LINE、さのまる健康アプリ、デジタルサイネージへ掲載し、市民への周知を図った。 ・11月に佐野市健康まつりにて、感染症対策に関するリーフレットを配布した。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		感染症予防啓発の媒体数	件	14	5	7
		対策本部会議開催数	回	11	1	0
		事業費計	千円	65,347	4,505	221
		一般財源	千円	0	0	1
		特定財源（国・県・他）	千円	65,347	4,505	220
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	令和5年度と比べて、8月、9月の感染者数が、減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	95.8	91.4	87.7	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			○
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度に新型インフルエンザ等対策事業と統合になるが、引き続き、感染症対策について周知していかなければならない。
---

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明  令和7年度に新型インフルエンザ等対策事業と統合し、感染症対策の周知を行っていく。
---	--

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	任意予防接種事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑨	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		任意予防接種事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3132	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	予防接種法、佐野市任意予防接種費用助成要綱		開始年度	令和3年	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	—	事業分類	健診・予防事業
	施策	3	感染症対策の推進						
	基本事業	2	感染症対応体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	予防接種法に定める定期予防接種以外の予防接種を、市が行政措置として実施する。 インフルエンザ、おたふく、帯状疱疹、再接種に費用の一部を助成。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	予防接種の費用を助成し、より多くの方が接種することで、個人の発病又は重症化を防止し、そのまん延を防止する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		インフルエンザ予防接種助成数	人	8,000	7,900	7,800	7,700	7,600
		おたふくかぜ予防接種助成数	人	—	—	—	2,000	1,900
		帯状疱疹予防接種助成数	人	—	—	—	2,000	1,900

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	・対象人数：インフルエンザ12,116人、おたふくかぜ4,035人、帯状疱疹61,268人 ・事業実施期間：おたふくかぜ、帯状疱疹については令和 6 年4月開始。インフルエンザについては令和6年10月開始 ・周知活動：広報紙、ホームページ、LINE、母子健康手帳アプリ	活動指標	単位	R4	R5	R6
		インフルエンザ実施医療機関数	箇所	47	54	53
		おたふくかぜ実施医療機関数	箇所	—	—	21
		帯状疱疹実施医療機関数	箇所	—	—	52
		事業費計	千円	17,162	15,794	41,090
		一般財源	千円	0	1,817	4,025
		特定財源（国・県・他）	千円	17,162	13,977	37,065
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	接種率は、インフルエンザ33.0%、おたふくかぜ29.2%、帯状疱疹1.7%であった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		インフルエンザ予防接種助成数	人	7,843	6,986	6,679	値が大きいほど良い	効果が下がった
		おたふくかぜ予防接種助成数	人	—	—	1,178	値が大きいほど良い	
		帯状疱疹予防接種助成数	人	—	—	1,933	値が大きいほど良い	

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった					○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

帯状疱疹が令和7年度より定期接種化される。任意接種も継続することから、年齢をわかりやすく周知していく必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明  引き続き、広報紙、市ホームページ、LINE、XなどのSNSを利用し、日頃の感染予防対策に関する情報を発信していく。また、予防接種助成の情報発信も行っていく。
---	--

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	定期予防接種事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		定期予防接種事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3132	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	予防接種法、佐野市定期予防接種費用助成要綱		開始年度	昭和 2 3 年	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	－	事業分類	健診・予防事業
	施策	3	感染症対策の推進						
	基本事業	2	感染症対応体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	予防接種法に基づく定期予防接種の実施 接種方法：市内医療機関での個別接種
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が、感染の恐れのある疾病に対して免疫の効果をつけるワクチンを接種し、感染症の発生及びまん延を予防する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		1歳児（MR）の接種率	%	95	95	95	95	95
		年長児（MR）の接種率	%	95	95	95	95	95
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	61.1	56.5	57.0	57.5	58.0

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	・定期予防接種対象者へ接種勧奨通知の発送（MR 2期、DT、日本脳炎、子宮頸がん予防ワクチン、高齢者肺炎球菌） ・定期予防接種未接種者への接種勧奨通知の発送（MR 1期、2期、日本脳炎特例対象者、日本脳炎 2期） ・学校の長期休暇前に個別通知を発送し、就学前健康診断時には接種案内の配布を行った。（各学校へ依頼） ・乳児全戸訪問時に予診票と予防接種の冊子を配布した。（子ども課へ依頼） ・周知活動：広報紙、ホームページ、LINE、母子健康手帳アプリへの掲載	活動指標	単位	R4	R5	R6
		MR実施医療機関数（市内）	箇所	40	39	29
		高齢者インフルエンザ実施医療機関数（市内）	箇所	47	67	78
		事業費計	千円	286,421	296,751	378,694
		一般財源	千円	285,205	295,717	337,311
		特定財源（国・県・他）	千円	1,216	1,034	41,383
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	MR 1期、MR 2期ともに接種率は90%以上、高齢者インフルエンザは50%以上の接種率となっている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		1歳児（MR）の接種率	%	92.7	96.2	96.6	値が大きいほど良い	効果が上がった
		年長児（MR）の接種率	%	93.5	92.5	90.8	値が大きいほど良い	効果が下がった
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	56.7	53.2	50.0	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用が増加した		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	2指標			費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった						○

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 7 年 4 月から带状疱疹予防接種が定期予防接種となり、子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種の延長、MR1・2と風しん5期の予防接種が 2 年間延長となるので、市民へ周知し、接種率向上に努める。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明  引き続き、広報紙、市ホームページ、LINE、XなどのSNSを利用し、予防接種に関する情報を発信していく。
---	--



仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		新型コロナウイルス予防接種		款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係		健康被害給付事業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3132	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	義務の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	令和6年	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	—	事業分類	現金等給付事業
	施策	3	感染症対策の推進						
	基本事業	2	感染症対応体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	特例臨時接種の新型コロナウイルス予防接種を受けたことにより健康被害が生じたと厚生労働大臣が認めた者について、予防接種法に基づき、救済給付を市が行う。 救済給付に係る費用は、国が全額負担する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	特例臨時接種で行われた新型コロナウイルス予防接種を受けたことによって、健康被害が生じたと厚生労働大臣が認定した方に、認定された病名が治癒するまで給付金を支払う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		給付者数	人	—	—	—	5	2

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	厚生労働大臣が認定した5名の救済給付を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		給付金支払い回数	回	—	—	9
		事業費計	千円	0	0	48,119
		一般財源	千円			142
		特定財源（国・県・他）	千円			47,977
		（うち受益者負担）	千円			0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	厚生労働大臣が認定した5名の救済給付を行った。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		給付者数	人	—	—	5	値が小さいほど良い	#VALUE!

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない			○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

厚生労働大臣が認定した5名のうち、2 名が治療継続中のため、引き続き申請があれば速やかに救済給付を行い、国に負担金の申請をする。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明  ・引き続き、認定を受けた方に給付金を支払い、国に負担金の申請をする。
---	--